

## 第 1727 回例会報告

令和4年2月17日(木)曇り

### 会長挨拶

## 『世界平和構築の為に ロータリーの出来ること』

会長 小口直久

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日であり、この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」として順守されております。この日、各クラブは、「国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない」と、ロータリー章典にあります。

今日、世界を見渡すとウクライナを中心に、アメリカ中心としたNATO軍とロシアの戦いが現実味を帯び、中国による他国への侵攻、特に台湾、香港への介入と、世界では紛争の火種があちこちで散見されます。

紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子供です。このような状況を、私たちは絶対に受け入れることはできません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育み、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

平和な環境をつくるためにロータリー人道的組織として活動する中、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

我々ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために世界各地にて行動を起こしています

【平和の推進におけるロータリーの4つの役割】

○実践者として

疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。

○教育者として

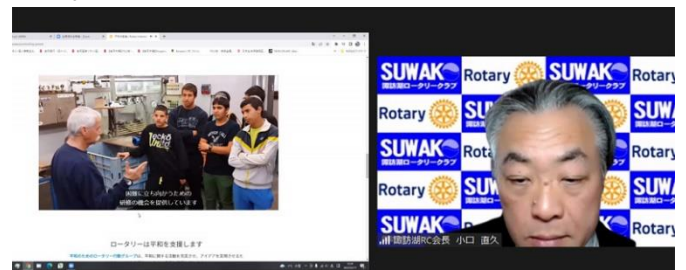
ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる1,300人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。

○調停者として

ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。

○提唱者として

ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。



我々ロータリアンにとって、世界の人々が平和に暮らせる世界が理想であり、その理想に向かい小さなことから、まずは私たちの身近な中で出来ることを模索しながら行動していきたいと考えます。世界平和構築のため、ロータリーという組織を有意義に使い世界に貢献できれば、少しずつでもロータリーの考える平和に近づいていけるのではないのでしょうか！

この後しばらくしてロシアによるウクライナ侵攻が始まりました



本日の出席者はZOOM23名、中継会場出席5名の28名でした





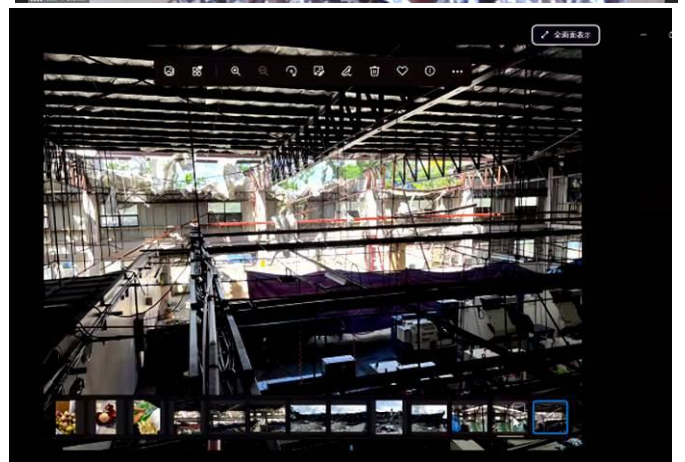
すが、日本国内ならば呑みだけの騒ぎになっているか胸が痛みました。  
 会員全員が話していましたが、体に気を付けながら頑張ってください



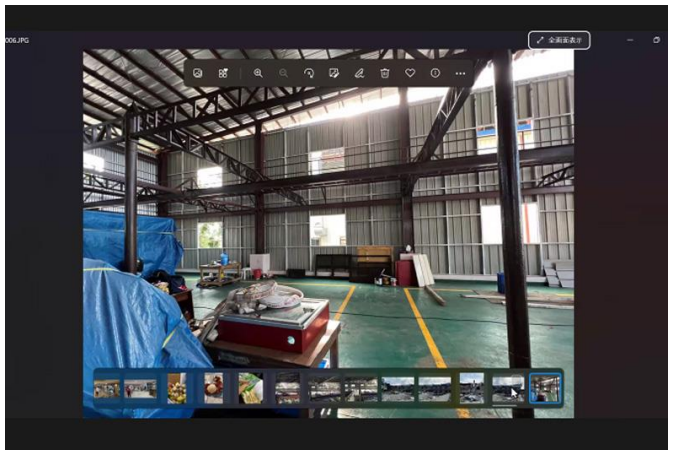
◇幹事報告◇

【理事会報告】  
 3月例会予定

日	回	内 容	担 当
3	木 1729	地区大会連絡調整会議	地区大会実行委員会
10	木 1730	会員の健康診断と健康卓話	職業奉仕
17	木 1731	外部講師卓話 よいさ いよいよ御柱	クラブ会報 雑誌広報
24	木	休会	会長・幹事
31	木 1732	ミンダナオ井戸掘り報告	国際奉仕



外の見える工場内部



小林聖仁会員が法務大臣感謝状を授与されました。更生保護活動への顕彰です

第 1727 回例会  
 『セブからの報告』

西沢賢治会員  
 担当 国際奉仕委員会

本日の卓話は、セブ島の工場が大変な被害を受けセブ島に渡って復旧の陣頭指揮を執っている西沢会員から被害の状況について ZOOM を通じてお話を聞きました

被害の状況は聞きしに勝る状態で、いつもは冗談に満ちた西沢会員の話も今回は危機感迫るものでした。渡比直後の状態より改善されたといっていま



元気そうな西沢会員と意気消沈中の本日の担当、成山国際奉仕委員長